

マルチユーザコミュニケーションをベースとした 場の共有システム(CHOCOA)

デモ 16

村上雅彦, 松本安英, 岡田純代, 松田正宏
株式会社 富士通研究所

1.概要

マルチユーザコミュニケーションをベースとした場の共有システム(以下CHOCOA)は、協調作業を行う上で重要となるオフィスでの会話を、インターネット・イントラネット上で行うためのリアルタイム型のコミュニケーションシステムである。

2.背景

昨今の計算機・ネットワークの進歩により、離れた場所での共同作業の機会が増加している。既存の電話や電子メールは、このような場合のコミュニケーション手段として有効ではあるが、気軽に会話をしにくい面を持ち、離れた場所での共同作業の効率を損なう一因になっている。

このような問題をふまえて、気軽に会話ができ、あたかも同じ場所において同じ時間を共有しているような感覚が得られるコミュニケーション手段の創出を目指した。

3.CHOCOAの特徴

CHOCOAでは、インターネット標準のチャットシステムIRC[1]をベースに、次のような特徴を持ったコミュニケーションシステムを創出した。

- ホットライン型
電話や電子メールと異なり、いつでも気軽に何の操作を行わなくても喋ることができる。
- マルチユーザー型
同時に複数人で会話可能であり、従来のオフィスでの会話と同等の会話が行える。
- リアルタイム型
電子メールと異なり、日常会話同様、こちらの言ったことが相手に即座に伝わる。

さらにCHOCOAは、このようなコミュニケーション手段を仕事で使いやすくするために次のような支援機能を提供する。

- 呼出し機能
名前を呼ばれたときに太字で表示したり、サウンド等でユーザーに通知する。画面を注視する必要がなくなり、仕事に集中できる。
- ブラウザ連携/ファイル転送機能(情報共有機能)

会話中にURLが現れた場合に自動的にブラウザを制御して、会話の参加者が同じページを見られるようにし(ブラウザ連携)、またドラッグ&ドロップという簡単な操作でファイルを会話の参加者に送ることを可能(ファイル転送機能)にした。この二つの機能により情報を気軽に交換できる。

- 音声メディア連携機能(インターネットテレフォニ連携)
テキストメディアでは、ニュアンスが伝えにくい点や、コミュニケーション速度が遅い点等の欠点を補うために、インターネットテレフォニアプリケーションを簡単に起動できるようにし、テキストメディアから音声メディアに速やかに移行できるようにした

4.結果

以上のような特徴を持つCHOCOAを開発使用した結果、離れた場所においてもあたかも同じ場所同じ時間を共有しているような感覚が得られ、離れた場所での共同作業を円滑に進めることが可能になった。

5.おわりに

CHOCOAは、現在富士通のWWWサーバー[2]においてフリーソフトとして公開している。なお、1998年1月現在のべ約6万~7万回ダウンロードされている。

参考文献

- [1] J. Oikarinen and D. Reed, "Internet Relay Chat Protocol", RFC1459, May, 1993
[2] <http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/free/chocoa/>

名前を呼ばれた行を
太字で表示 ブラウザに自動表示

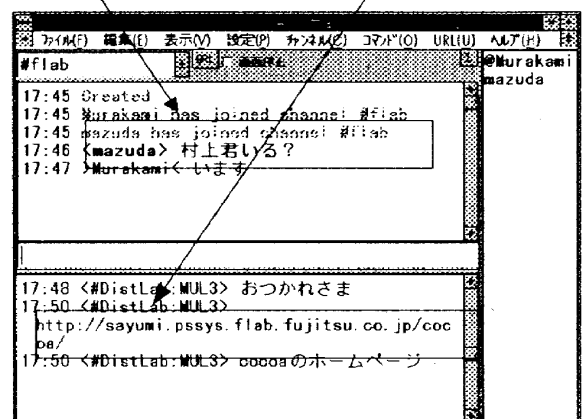


図 CHOCOA

Space-Sharing System Based on Multi-User Communication (CHOCOA)

Masahiko Murakami, Yasuhide Matsumoto, Sumiyo Okada, Masahiro Matsuda

FUJITSU LABORATORIES LTD.

64, Nishiwaki, Ohkubo-cho, Akashi 674, Japan